

著者紹介

武山 直志 Takeyama Naoshi

愛知医科大学病院副院長、愛知医科大学高度救命救急センター長、救命救急科教授、医学博士

1980年5月関西医科大学附属病院研究医員、1989年9月関西医科大学附属病院救命救急センター講師、1997年6月外国留学(英国、マンチェスター大学)、2005年4月愛知医科大学病院救命救急科助教授、2011年5月藤田保健衛生病院救命医学講座教授、2015年10月愛知医科大学病院救命救急科教授、愛知医科大学病院高度救命救急センター長(現在に至る)

研究歴と現在の専門分野：救急集中治療

所属学会：日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本熱傷学会

小川 恵子 Ogawa Keiko

金沢大学附属病院 漢方医学科 臨床教授、医学博士

1997年名古屋大学医学部卒業・名古屋第一赤十字病院にて外科研修、2002年名古屋大学医学部小児外科 非常勤医員、2004年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了、名古屋第二赤十字病院 小児外科常勤医、2005年あいち小児保健医療総合センター 医長、2006年あきは伝統医学クリニック 常勤医、2007年千葉大学医学部附属病院和漢診療科 医員、2011年金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 和漢診療外来 特任准教授、2015年金沢大学附属病院 漢方医学科 臨床教授(現在に至る)

研究歴：小児外科専門医として様々な疾患と症状に向き合う中で、漢方薬が症状緩和に効果があることを経験し、千葉大学附属病院和漢診療科に国内留学し漢方専門医を取得。その後も漢方医学分野の研究を継続し、がん患者に対する症状緩和への漢方医学の効果を研究。2011年に金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科和漢診療外来新設のため赴任後、診療実績を重ね、2015年、漢方医学科を開設。各専門診療科と連携協力しながら治療する他、数々の漢方薬の薬効に関する臨床研究のみならず、鍼灸治療、望診(顔色などを用いた漢方医学的診断)のための機器開発など、漢方医学全般について広く研究を精力的に行いその成果を国内外で発表している。

現在の専門分野：漢方医学・小児外科・外科

所属学会：日本東洋医学会、日本小児外科学会、日本外科学会

加藤 一夫 Kato Kazuo

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座、准教授、歯学博士

1975年3月愛知県立岡崎高校卒業、1981年3月愛知学院大学歯学部卒業、1981年6月愛知学院大学歯学部 助手、1989年2月愛知学院大学歯学部 講師、1993年4月～1994年3月英国リーズ大学歯学部 客員研究員(Div. of oral Biology)、1998年4月愛知学院大学歯学部 助教授、2007年4月愛知学院大学歯学部 准教授(教員組織変更のため)(現在に至る)

研究歴と現在の専門分野：齲蝕関連菌の菌垢内分布に関する研究、口腔環境中のフッ素とミネラルの動態に関する研究、8020に関する疫学研究、学校齲蝕予防プログラムの評価に関する研究等。専門分野は Cariology(齲蝕学)。

所属学会：日本口腔衛生学会、日本公衆衛生学会、ORCA (European Organisation for Caries Research)